

## 重要インフラの緊急点検の結果及び対応方策（概要）

### 1. 重要インフラの緊急点検の実施概要

○平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年台風第 21 号、平成 30 年北海道胆振東部地震等最近の災害に鑑み、重要インフラの機能確保について、132 項目の緊急点検を実施し、点検結果と対応方策をとりまとめた。

I. 防災のための重要インフラ等の機能維持	II. 国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持
<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 大規模な浸水、土砂災害、火山噴火等</li><li>➤ 大規模な地震・津波等</li><li>➤ 災害対応に必要な基盤施設等</li><li>➤ 救助・救急、医療活動等</li><li>➤ 避難行動に必要な情報等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 電力等エネルギー供給インフラ</li><li>➤ 食料供給、ライフライン、サプライチェーン等</li><li>➤ 陸海空の交通インフラ</li><li>➤ 情報通信インフラ・情報サービス</li></ul>

### 2. 緊急点検の結果及び対応方策（例）

#### I. 防災のための重要インフラ等の機能維持（例）

➤ 大規模な浸水、土砂災害、火山噴火等

**河川** バックウォーター現象等により氾濫した場合の湛水深等の緊急点検を行い、甚大な人命被害等が生じる恐れのあることが課題として判明

⇒ 堤防の強化対策やかさ上げ等

➤ 救助・救急、医療活動等

**病院** 災害拠点病院等の非常用自家発電設備の整備状況等の緊急点検を行い、診療機能を 3 日程度維持するために設備の増設等が必要なことが課題として判明

⇒ 非常用自家発電設備の増設等が必要な民間病院等に対する支援

➤ 避難行動に必要な情報等

**砂防** 土砂災害へのソフト対策の取組状況の緊急点検を行い、災害リスク情報の整備が不十分な自治体や、気象庁の土砂災害に関する情報改善の必要性が判明

⇒ 基礎調査の実施、土砂災害ハザードマップの作成、土砂災害警戒判定メッシュの高精度化

## Ⅱ. 国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持（例）

### ➤ 電力等エネルギー供給インフラ

- 電力** 全国の電力インフラ総点検を行い、現行の法令等に照らし問題のある設備がないこと、運用面での対策でブラックアウトを再発防止できることなどを確認  
⇒ 更なる電力供給の強靱化に向けた対応方策

### ➤ 食料供給、ライフライン、サプライチェーン等

- 農業** 畜産物の安定供給上重要な畜産関係施設等の緊急点検を行い、停電時の対応計画を作成していない等の課題が判明  
⇒ 停電時の対応計画を作成する等により、生乳及び食肉の持続可能な生産・流通を確保する体制を整備

### ➤ 陸海空の交通インフラ

- 空港** 航空輸送上重要な空港等のターミナルビル等の非常用電源・電気設備の設置状況、耐震対策の実施状況等の緊急点検を行い、非常用電源・電気設備で浸水の可能性が判明、補強が必要な吊り天井を確認  
⇒ 電源設備等の浸水対策、耐震対策

- 道路** 幹線道路等の法面・盛土の緊急点検を行い、土砂災害等の危険性が高く、鉄道近接や広域迂回など社会的影響が大きい箇所があることが課題として判明  
⇒ 土砂災害等に対応した道路法面・盛土対策、土砂災害等を回避する改良や道路拡幅等

- 鉄道** 利用者数が多い線区等を対象に、鉄道河川橋梁の緊急点検を行い、豪雨により流失・傾斜のおそれがある橋梁があることが課題として判明  
⇒ 洗掘防止工、異常検知システムの導入等

- 港湾** 主要な外貿コンテナターミナルの高潮等への浸水対策等の緊急点検を行い、コンテナ流出リスク、電源浸水リスク、地震リスク等の課題が判明  
⇒ 浸水対策、耐震対策、港湾BCPの充実化

### ➤ 情報通信インフラ・情報サービス

- 通信** 全国の主要な携帯電話基地局の予備電源の整備状況等の緊急点検を行い、被害状況の把握から応急復旧の初動対応等に課題が判明  
⇒ 迅速な応急復旧のための体制整備、通信事業者における車載型基地局等の増設

